



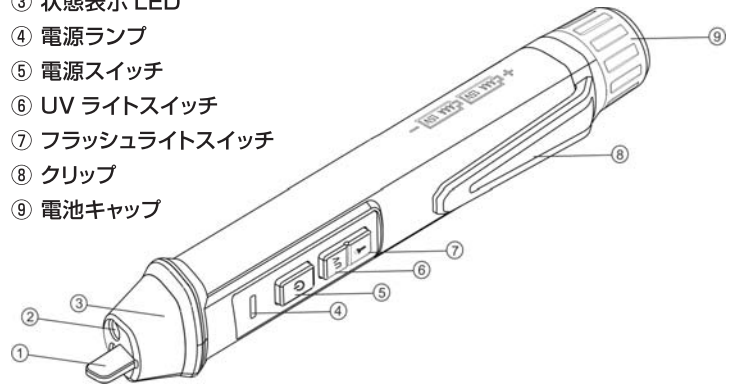
ご使用前に下記の注意事項を必ずお読みください
誤った取り扱いをすると本器が故障する恐れがあります。

- ご使用前に本器が正常に動作をするか既知の電源などで動作確認を行ってください。
- 高圧を検電する際、高圧部から 60cm 以内に手が近づく場合、絶縁ゴム手袋を着用してください。
- 本器を濡らしたり、濡れた手で使用しないでください。
- 高温・低温・多湿な所、直射日光があたる所や車の中などで使用や保管をしないでください。

製品仕様	
電圧範囲	12 ~ 1000VAC
周波数	50Hz / 60Hz
電源	単4形乾電池 × 2
寸法	161 × 20 × 20 mm
重量	44g
適応規格	CAT II 1000V / CAT III 600V
使用温度	0 ~ 40℃
保存温度	-10 ~ 50℃

各部の名称

- ① 非接触式検電センサー
- ② UV ライト / フラッシュライト点灯部
- ③ 状態表示 LED
- ④ 電源ランプ
- ⑤ 電源スイッチ
- ⑥ UV ライトスイッチ
- ⑦ フラッシュライトスイッチ
- ⑧ クリップ
- ⑨ 電池キャップ



取り扱い方法 電源スイッチ・ライト点灯入 / 切方法

●電源スイッチ



本器の電源スイッチを押すと電源が入り、緑色の電源ライトが点灯します。もう一度を電源スイッチを押すと電源が切れます。(60 秒後に自動で電源が切れます。)

●フラッシュライトスイッチ



電源が入っている状態で本器のフラッシュライトスイッチを押すと、点灯します。もう一度をスイッチを押すとライトが消えます。(10 秒後に自動で電源が切れます。)

●UV ライトスイッチ



電源が入っている状態で本器の UV ライトスイッチを押すと、点灯します。もう一度をスイッチを押すとライトが消えます。(10 秒後に自動で電源が切れます。)

検電方法



- ご使用前に本器が正常に動作をするか既知の電源等で動作確認を行ってください。
- 高圧を検電する際、高圧部から 60cm 以内に手が近づく場合、絶縁ゴム手袋を着用してください。
- 本製品の最大定格電圧は 1000VAC です。この電圧を超える測定はしないでください。
- 遮へいされた電線（シールド線など）には使用できません。

電源を入れ、緑色ランプが点灯したことを確認してください。

電圧を検出すると、状態表示 LED が赤く点滅し同時に電子音が鳴動します。

高い交流電圧を検出すると、点滅の間隔と電子音の鳴動間隔が短くなります。

メンテナンス方法 電池交換時期・手入れ方法

●電池交換時期

状態表示 LED が3回点滅し、電子音が1回鳴動後、自動的に電源が切れた場合は電池を入れ替えてください。

1. 電源キャップを外す。
2. 古い電池を取り出す。
3. 本器にある電池の図を確認し、単4形乾電池二本をマイナス方向から入れてください。



乾電池の方向に注意して取り替えてください。
誤った入れ方をすると故障の原因になります。

●手入れ方法

本器に汚れが付いた場合は、乾いた柔らかい布でふき取ってください。



研磨剤やアルコールなどの表面が傷つく揮発性溶液は機能の低下や故障の原因になるため絶対に使用しないでください。

その他注意事項



- 長時間使用しない場合は、本器から乾電池を取り外してください。電池から発生するガスにより電池に漏液、発熱、破裂が起こる恐れがあります。
- 被覆電線がシールドされていると検電できません。また接地されていない金属管やケースなどの検電では誘導電圧により動作することがあります。
- 感電防止のために、検知しなかった場合でもテスター等を用いて電圧の有無を確認する。
- 人体および検電器が誘導電圧を受けているときに、検電センサーをアースに当てると動作することがあります。